

## 学位論文及び審査結果の要旨

横浜国立大学

氏名	平井 祐介		
学位の種類	博士(学術)		
学位記番号	環情博甲第2068号		
学位授与年月日	平成31年3月26日		
学位授与の根拠	学位規則(昭和28年4月1日文科省令第9号)第4条第1項及び 横浜国立大学学位規則第5条第1項 (論博の場合は第2項)		
学府・専攻名	環境情報学府 環境リスクマネジメント専攻		
学位論文題目	日本の化学物質管理関連法制度間における環境リスク評価の比較手法に関する研究		
論文審査委員	主査	横浜国立大学 教授	野口 和彦
		横浜国立大学 教授	中井 里史
		横浜国立大学 准教授	亀屋 隆志
		横浜国立大学 准教授	小林 剛
		横浜国立大学 客員准教授	竹田 宜人
		大阪大学 教授	岸本 充生

## 論文及び審査結果の要旨

平成31年1月25日(金)13:00~14:30に環境情報1号棟315室において約85分の学位論文公聴会を開催し、学位申請者による発表と質疑応答を行った。続いて、同315教室において審査委員全員の出席のもと、審査会を開催した。

慎重な審査の結果、平井祐介申請の論文は、新たに日本の化学物質管理関連法制度の管理措置ごとのリスク評価の分類手法を開発したものであり、その成果は、各法制度の管理措置がどの程度のリスク管理水準を要求しており、それに対してどのようなリスク評価手法が必要とされるか、あるいは、各行政機関の情報基盤がどのようにデータを整備し、他の機関と共用していくか等の研究への展開が期待でき、これまであまり議論されていない暴露評価や不確実係数の情報の基盤化が必要な項目や評価手法のガイドラインに何を明記する必要があるかも提供しているなど、博士(工学)の学位論文として十分な内容を有すると審査委員全員が一致して判定した。

さらに、学位申請者は、提出論文に関係する分野の専門的な質疑に対して的確な回答をしたことから、十分な学力を有すると判定した。語学(英語)については、2015年6月15-17日に開催された欧州リスク学会(オランダマーストリヒト大学)において、口頭発表を行っており、十分な語学力を有すると判定した。以上をもって、審査委員会として博士(工学)の学位授与に値することを確認し、最終試験は「合格」と判定した。

注 論文及び審査結果の要旨欄に不足が生じる場合には、同欄の様式に準じ裏面又は別紙によること。